

# 令和4年度第1回男女共同参画社会推進会議 会議録 (要旨)

- 開催日時 令和4年6月29日(水)午後7時00分～午後8時40分
- 場 所 宮代町役場2階202会議室
- 出席者 委員 大島委員 武井委員 渡辺委員  
事務局 野口室長 鈴木主任
- 傍聴者 0名

## 1 次第

- (1) 開会
- (2) 議題
  - ①令和4年度事業計画(案)について
  - ②男女共同参画情報誌・セミナーについて

## 2 会議概要

- (1) 開会
  - 出席メンバー3名。
  - 男女共同参画社会推進会議設置規程第6条第4項に基づき会議を開会しました。
- (2) 議題
  - ①令和4年度事業計画(案)について  
事務局より事前配布資料に基づき説明。

[意見等]  
特になし

### ②男女共同参画情報誌・セミナーについて

#### ◆男女共同参画セミナーについて

(事務局) 令和3年度のセミナーについては限定配信ということで、事前に申し込みをいただいた方にURLをお知らせし、視聴していただける流れでした。動画は、宮代町のインターネット放送局のアカウントで公開をしています。先日、セミナーの講師より、限定を外し一般公開してぜひ多くの方に視聴して欲しいとの連絡がありました。セミナーについては、男女共同参画社会推進会議の中で決定しておりますので、この第1回目の会議にて可否を決定し、講師にお伝えしたいと考えております。一般公開をしてよろしいでしょうか。

(委員) 講師が良いというのであれば問題ないのではないのでしょうか。著作権の関係など、取り決めをしておけば良いと思います。

(事務局) それでは、必要な取り決めは講師とさせていただき、一般公開の方向で調整し

ていきたいと思えます。

(委員) 別の話になりますが、今回視聴回数が多いのは分割して見ている方も多かったと思われるということでしたが、今回落語で長い視聴時間でしたが、多くの方に気軽に見ていただくには、いくつかに分けるなどした方が良いのではないかと思います。

(事務局) 今回は動画の時間が70分ということもあり、区切って見ていただけるようにチャプターをつけました。

(委員) 最初に動画の終わりの時間を見てしまうと、めげてしまうというのがありますよね。

(事務局) 確かにそのようなご意見も中にはありました。セミナーを動画配信するにあたって、配信時間も重要なのだなと思ったところです。それでは、令和3年度のセミナーについては、公開の方向で調整したいと思えます。ありがとうございました。

令和4年度のセミナーは、1月または2月の予定ですが、今日はテーマだけでも方向性を決めることができたらと思っています。資料①にこれまでのセミナーのテーマが記載されています。昨年の第1回目の会議では、①非正規労働者がコロナ禍の中で解雇され、生活が成り立たなくなっているため再就職するための面接の受け方 ②働き方や就職、再就職に向けた履歴書の書き方、面接のポイント ③黒人差別問題、女性差別など広く「差別」を切り口としてはいかがか ④SNSにおける誹謗中傷はどうか。書き込みする人の深層心理など。ある種のハラスメントであり、匿名性、日常化の怖さがある ⑤コロナ差別が気になる。差別を恐れて、感染者になったらどうしようと心配や不安が誰にもあると思う ⑥コロナ自粛期間は、家の中にいることを強いられてDVや虐待が増えてきたと聞いています。若い人の生活の現状を話してくださる方はいかがかというようなテーマが挙げられました。結果としては、コロナ禍でも明るく楽しく落語を通じて男女共同参画が学べたら良いということで、令和3年度については創作落語になりました。今年度何かこんなテーマが良いなど案はありますか。

(委員) 想定としては、対面と動画配信の両方ですか。

(事務局) 講師の方にもよると思えますが、その点についてもどうするか検討できればと思います。アンケートでは、ユーチューブによる配信を希望する方が多かったです。

(委員) 一応、案を持ってきました。今、テレワークが進んできて、逆に人と会うと人疲れのようになってしまうので、会うと相手にうまく伝えられないですとか、気持ちの伝わる伝え方、アサーションのような講義が良いのかなと思っていました。それにはオンラインではなくて、対面での講義が良いと思えて、実は講師の候補がいます。オンライン配信になってしまうとどうなのかなというのがありますが。

(事務局) 最近、県の説明会や国の説明会はオンラインが増えてきています。オンラインと対面の両方行うという会議もありますが、対面の場合はグループワークをやる場合アクリル板などの衝立を設置するため、そこで話し合いをすると相手の声が聞こえない場合もあります。オンラインの会議では、マイクや通信の具合でうまく接続できなかったりということがありますね。

(委員) 私も、会議に出席するにあたって何か考えておかなければいけないと思い、少し考えてきました。コロナのせいで仕方のないことだと思えますが、このところ、対

面ではなく配信でのセミナーになっていますよね。コロナの状況にもよりますが、私は可能であれば対面でのセミナーの方が良いのかなと思います。やはり画面を通じての参加よりも、対面で聞いた方が受け止めやすい部分があるのかなと思います。そのなかで、先ほど出た案に似ている部分がありますが、しばらく前に「声と言葉のブラッシュアップ講座」というものを受講しました。やはり、人とコミュニケーションをとるにあたって、ボディランゲージも必要かもしれませんが、せっかく話をしていても相手に聞き取ってもらえないことには相互理解は難しいですね。ですから、聞きやすい話し方、人前で話す時のポイントや注意点など、そのようなものを取り上げたら良いのではないかなと思いました。その講師の方は、大学生を対象として就職をするための面接の指導などもされていたり、コーチングの講師もされたり、色々なことをされている方でした。私が受講をした時からしばらく時間があいてしまっているので、今はどのような活動をされているか分かりませんが。人前で話すにあたって感じの良い話し方ですとか、自分の意思を簡潔に伝えることなど、対面でコミュニケーションをとるにあたっての話などをしてもらえたら良いかなと思いました。ちなみに、私が参加した時はだいぶ前でしたが、こんな風にしたら相手に向かって声が出せるといった、みんなでやってみましょうという実技がありました。ただ、今コロナ禍で何とも言えませんが、対面で受講するとセミナーを受けたという実感がありますよね。良いお話を伺っても、何となく画面越しで受講すると印象が薄れてしまうような気がします。コロナ禍で再就職や就職活動する大学生に面接の指導もしていると聞きましたので、もし対面で行うとすれば、申し込んでくる方が例えば、子育てが一段落して仕事をしようかなと考えているお母さんだったり、受講生に合わせた面接のポイントなど、そのようなセミナーがあっても良いのかなと思いました。

(委員) 私はほとんどYouTubeを見ないので、対面でできたら良いと思います。

(事務局) そうしましたら、ご提案いただいたお2人の方に事務局からご連絡を取らせていただき、どのような形でできそうなのかを次回の会議までに確認させていただきまします。今のところコロナの感染者数は抑えられてきています。また今後どのような状況になるかは分かりませんが、町のイベントも少しずつ動き始めています。今後、感染状況がどうなるか読めないところがありますので、状況を見ながら進めてまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

#### ◆情報誌ふらふーぷについて

(事務局) 多様な働き方実践企業に認定された宮代町の企業を見ると、昨年度と比べて2社増えています。情報誌ふらふーぷを見てかは分かりませんが、このような制度や働き方があるということはこの情報誌を通じて発信することで、それを見ていただいた会社が自分のところでも申請してみよう、取り組んでみようなどとなれば良いと思いますし、そのきっかけになれば良いと考えています。今回のふらふーぷ17号についても、多様な働き方実践企業を特集記事として左の面に掲載する形でよろしいですか。

(委員) ずっと続いてきたので掲載するのが良いと思いつつ、せっかく第3次男女共同参画プランができたので取り上げたら良いのではと思います。

(事務局) プランの数値目標の一つに、多様な働き方実践企業の数を増やす目標がありますので、できれば多様な働き方実践企業の掲載は続けていけたら良いと考えています。第3次男女共同参画プランのことを掲載するとすれば、前回の「みんなで目指そうジェンダー平等」のところに今回はプランの概要を掲載するということができると思います。

(委員) そうですね。基本目標と数値目標を掲載できたら良いのではと思います。

(委員) 今までもプランをリニューアルした時に情報誌に取り上げてきたと思うので、今回も掲載した方が良くと思います。宮代町でもこんなプランをやっているのだよということが伝われば良いと思うので、私もプランを掲載するのが良いと思います。そのなかで、多様な働き方実践企業の数を増やしていくという目標があるのだとすれば、プランでも数値目標を掲げていますというようにすれば、もしかしたらチャレンジしてみようかなと思ってくれる企業があるかもしれません。

(事務局) それでは、今回は、情報誌に第3次男女共同プランの概要を入れるということでよろしいでしょうか。

(委員) はい。

(事務局) 内容は、どのようなところを掲載するのが良いと思いますか。

(委員) 概要版がありましたよね。基本理念は載せるにしても、全部は載りませんね。

(事務局) 概要版の全部は掲載できないと思いますので、プランの掲載ページにとべるように QR コードを入れるなどはできると思います。趣旨、概要、理念までは入れられたとしても、紙面の関係で数値目標すべてを入れるのは難しいかもしれません。広報誌ですので、子どもから高齢者の方が読んで分かりやすいような掲載の仕方をしなければなりません。

(委員) きっと数値目標は全部載せられないですね。

(委員) 基本理念が一番中心になるものなので載せるべきだと思います。数値目標も色々ありますが、全部を掲載するのではなく、例えば理念に関係する審議会等の委員に占める女性の割合を一つの例として、私たちの町なのだから皆で考えましょうというような投げかける形で掲載できたら良いのではないかと思います。私たちの町は私たちの手で良くしていくのだということが伝わり、皆さん積極的に町のことについて考えていきましようみたいな形で出せば良いのかなと思います。

(事務局) 全部を掲載するのではなく、抜粋して掲載するのは良いかもしれません。内容については、作成の段階でまた委員の皆さんに見ていただきながら進めていきたいと思っています。それでは、多様な働き方実践企業 in 宮代を今回はどの企業を掲載するか決めていきたいと思っています。順番としてゴールドの企業から掲載するとすれば、姫宮保育園、百間保育園、宮代町役場、宮代町社会福祉協議会、伊草建設株式会社の5つから選ぶことになりそうですがいかがでしょうか。

(委員) 姫宮保育園と百間保育園は同じ保育園というくくりで、取材をしてみると共通している部分が出てきそうな気がします。昨年度は1面を使って紹介しましたが、同じゴールドということもありますし、2つの保育園をいっぺんに取り上げるというのはいかがでしょうか。例えば上から順番にというと、2年連続で保育園を取り上げる

ことになり似たような形になる可能性がありますので。

(事務局) 業種で見ていくと同じ業種がありますので、連続になってしまうのでここで保育園さんを取り上げるというのは良いと思います。あとは案の一つとして、これをずっと継続していくとすれば、今のところ宮代町役場がゴールドになっていますが、今年度新たな男女共同参画プランができましたので、今後、新たなプランに基づいてこんな取り組みをしていくよというような形で発信するのも一つかなと思います。宮代町役場をここ数年のうちに掲載するとすれば、今年のタイミングが良いのかなと思いました。ただ、昨年の方針のなかでも次は保育園が良いのではないかというご意見がありましたので、先ほどご意見があったような形で保育園を掲載するというのは良いと思います。

(委員) 保育園で良いと思います。役場のことは他の方法でアピールできると思いますので、公的機関の方は後でも良いのかなと思います。

(事務局) それでは、まず保育園の方に取材が可能かなど調整をさせていただきます。可能であれば2つの保育園を取材し掲載させていただきます。

(委員) 保育園の現状が分からないのですが、最近では男性の保育士さんも誕生していると聞きますが、姫宮保育園と百間保育園は男性の保育士さんはいらっしゃるのでしょうか。

(事務局) 多様な働き方実践企業のページを見ると、全員女性の保育士さんみたいです。

(委員) そうすると、女性にとって働きやすい環境づくりができていないかなと思いますが、お一人でも男性の保育士さんがいらっしゃれば、宮代町でも保育の分野に男性の進出が始まってきましたというような書き方ができるのかなと思いました。

(事務局) 姫宮保育園さんは、多様な働き方実践企業のページに、わが社のアピールポイントというものが書いてあって「0歳から就学前までの子どもたちが、毎日元気に楽しく過ごせるように工夫しながら保育を行い、子育てのお手伝いをしています。結婚や出産をしても多様な働き方の制度を取り入れて活用しているので、長く働き続けている職員がたくさんいます」とあります。認定の項目の一つに⑨従業員が長く働き続けているという項目があって、そこを姫宮保育園さんではPRしているみたいですね。

(委員) でも、⑨に○がついていないですね。

(事務局) 恐らく、新制度になる前の旧制度で認定されているためなのではないかと思います。2020年の4月から9項目になりましたので、その前に認定を受けているとその項目に○がついていない可能性があります。

(委員) 姫宮保育園さんと百間保育園さんは、私立の保育園ですか。

(事務局) はい、私立の保育園です。

(委員) 保育園を取り上げるとすれば、女性が働きやすい職場は男性も働きやすいと思いますので、男性の保育士の誕生を心待ちにしていますというような記事にできたら良いのではないかと思います。保育園というのは家庭の代わりと言われていて、家庭は大抵お父さんとお母さんがいるので、男性保育士さんが増えていくことが望まれますよね。期待を込めたようなもっていき方が良いのではないかと思います。

(委員) ちなみに、公立保育園に男性保育士さんはいらっしゃるのでしょうか。

(事務局) はい、います。保育園勤務の年もあれば、庁舎内の子育て支援課に配属されることもあります。

(委員) 2つの保育園の認定時期が2013年ですので、一番古いですね。

(事務局) そうしましたら、両方の保育園に取材の依頼をかけて進めていきたいと思えます。両保育園のアピールポイントをうまく紙面に掲載できたら良いと思えます。よろしいでしょうか。

(委員) はい。

(事務局) ありがとうございます。続きまして、宮代の輝き人になりますが、前は戸室さんということで、ちょうどご本人が会議にご出席いただいている時に、輝き人はまさに戸室さんが良いのではないかとということで決定しましたが、どなたか候補者の方はいらっしゃいますか。

(委員) 顔が広くないので、どのような方がいるか分からないのですが、何となく思ったのは、コロナにより子どもの貧困が問題になっていますが、子ども食堂の代表の方とか、子ども食堂を応援しているみなさんという形でも良いと思えますし、そのような形で掲載できると子ども食堂のPRにもなるのかなと思えます。

(事務局) 他に候補の方はいらっしゃいますか。

(委員) 前回、何人かあがっていなかったですか。

(事務局) 前は、話の流れで戸室さんとすぐに決定したので他の方は出てこなかったと思えます。案として出させていただくと、子育て中のママさんなのですが、宮代マルシェのボランティアをしていただいた方をご紹介します。トウブコフェスティバルなどを開催する宮代マルシェ実行委員会に興味を持っていただき、宮代マルシェ実行委員会の会議に数人のママさんで来ていただいたのが最初です。トウブコフェスティバルが、子どもも大人も楽しめるマルシェというコンセプトがあるため、ママさんならではのアイデアをたくさん出してくれたりしました。子連れということもあり、実行委員にはなれないけれど、できることはやりますと言っただき、サポーターとして活動をしてくれました。ママさんのネットワークはすごくて、そのような方が他にもたくさんサポートに来てくれて、町にとってはとてもありがたい存在でした。会議に出席できなくても、チラシを配ることはできると、子どもと一緒にたくさんのお店にイベントのチラシやポスターを配りに行ってくれたりもしました。子連れでも、自分にできる関わり方でイベントに関わっていただき、町の行事にもたくさん参加してくれて、そのなかの一人のママさんが、今、女性消防団に入団し活躍されています。候補者の一人ということでご紹介させていただきました。

(委員) 良いのではないのでしょうか。こんな素晴らしいことが宮代で起こっているなんて、信じられないし聞いてみたい気がします。

(委員) 今、消防団員さんなのですか。

(事務局) はい。現在、女性消防団員としてご活躍されています。

(委員) 最初は、無理のない範囲で参加をしていたが、環境が整ったことでそれに伴い活動の幅を広げられているというのはとても良いですね。

(事務局) マルシェの当日は準備で朝が早いのですが、サポーターのママさんたちは、旦

那さんに子どもを預けて朝早くから準備に参加してくれたりしていました。子育てを家庭内で調整してくれたのだと思います。パパの協力もあって、ママが活動できました。それでは、今回は、その方に声をかけてみてよろしいですか。

(委員) はい。

(事務局) ありがとうございます。早速お声がけさせていただきたいと思います。あとは、情報誌の裏面については、各種相談窓口のご案内にしたいと思っております。ここまで決まれば、今後とてもスムーズに進められると思いますので、ありがとうございました。本日の議題につきましては、皆さんのご協力のもと話し合いができましたので、今後事務局の方で調整等進めさせていただきたいと思います。次回の会議については、改めて日程調整のご連絡をさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。それでは、第1回男女共同参画社会推進会議を終わります。ありがとうございました。

### 3 閉会

#### ■次回の会議

令和4年8月の予定。今後あらためて日程調整する。